SAIN

健康な
住まいと
暮らしの
サイン

連＊載
空気がうまい家
人と暮らしを
たずねて
全国体感録

【特集】
お客様にもられしい
店舗リフォーム

好＊評
こだわり
プレゼント

2014 春
vol.40
presented by
KAIKEN

はじめの SAIN

「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない？

「無添加」という言葉を聞いて、皆様はどう感じられますか？『添加物が入っておらず体に良くて、健康になれる』と感じられる方がほとんどではないでしょうか。実際、添加物だらけより無添加であるほうが体にも良く健康であることは間違いないでしょう。しかし、家造りを考えたとき、本当にそれだけでいいのでしょうか…？

シックハウス症候群や化学物質過敏症、アレルギー疾患が急増している現在は、家造りも「デザイン」や「価格重視」ではなく、「健康」を考えている方が多くなっています。ビニールクロスが主流だった壁も和紙や珪藻土などの呼吸する素材に変え、合板使用の新建材から天然無垢材の床が増え、化学建材から発生するガスをなくそうと、無添加で健康的な素材が選ばれるようになり、今では本物の健康住宅かどうかの判断が難しくなってしまうほど、無添加で健康的な住宅が多く存在します。しかし、私たちが生活をしていく住居として考えたとき、無添加で健康的なだけで、本当に「健康である」と言いきれるのでしょうか？

引越す際、家の中に持ち込むものといえば、家具・家電・衣類などのいわゆる生活必需品。それらをなくして日々の生活を送っていくと考えたとき、おそらくほとんどの方が不便だと思われることでしょう。

生活をしていく上でなくてはならないもの、家具や家電・衣類など様々なものから化学物質のガスが放散しているのをご存知でしょうか？そんなものを無添加の家に入れてしまうとどうなるか…。もう答えはお分かりですね！

そう、たちまち無添加の家はそれらのガスを吸ってしまい、今までと同じ不健康な家になってしまうのです。

では、どうすれば本当に健康な住宅を造ることができるのでしょうか？そのためには、家具・家電・衣類などから発生する化学物質を「吸着し分解する」必要があるのです。そうすることによって、本当の健康住宅は生まれるのだと考えています。

また、ただ「無添加だから」「天然素材だから」といって「安全」ではありません。例えば、自然素材のはずの珪藻土はどうやって壁に塗ることができているのか？無垢材の床は本当に天然そのままなのか？塗料が塗ってあるのでは？外国産ではないのか？そういうことまで考えなければいけないのです。

当社では「本当の健康住宅」について真剣に考え、「幻の漆喰」「清活畳」「音響熟成木材」という健康自然建材を開発しました。この健康自然建材をバランスよく使用することで、呼吸をし、化学物質を分解し、さらには清々しい空気を作り、快適で安全な住宅を生み出すことができました。

これこそが、「引越した後も本当の健康住宅」なのです！

「空気がうまい家」をつくるカイケンの健康自然建材

幻の漆喰®

天然の空気清浄器

有明海の赤貝や銀杏草（海藻）などを使った完全天然素材の壁材。光と熱に反応する独自の光熱触媒作用を持ち、半永久的に室内の化学物質や有害物質を吸着・分解して住空間の空気を清浄に保ちます。ホコリも減ってお掃除もラクに。

幻の漆喰「10の特徴」

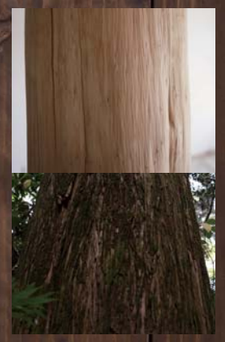
①焼肉などの臭いは2時間程度でほとんど感じなくなる
②タバコの煙・臭いは吸いながら分解
③ペット臭はほとんど感じない
④ペットのうぶ毛がほとんど浮遊しない
⑤手垢が付きにくい
⑥綿ほこりが発生しにくい（テレビへのホコリの吸着が少ない）
⑦アトピーの反応が緩和される
⑧喘息・鼻炎の反応がない
⑨抗菌作用※大腸菌・黄色ぶどう球菌・サルモネラ・腸炎ビブリオ
※日本食品分析センター
⑩鳥インフルエンザウイルス感染価が一〇〇万分の一に
※鳥取大学伊藤教授と共同研究

幻の漆喰® そとかべ

光熱触媒作用で「経年美家」を実現

外壁専用の幻の漆喰「そとかべ」は、光熱触媒技術を利用して汚れやすい外壁材をクリーンに保ちます。耐水・耐熱・耐変色・耐緑色化および耐カビ試験により、強靭さや耐久性を証明。時と共に味わいを増す「経年美家」の住まいを実現します。

音響熟成®木材



免疫力をアップする木「財」

南九州産の杉を、クラシック音楽を聴かせながらじっくりと常温で音響熟成したこだわりの木材です。木が本来持っている油分やエキスが残り、防菌・防カビなどの作用に加え、人間の免疫力をアップする働きがあるとされています。

KAIKEN いまお伝えしたいこと

経年美化と経年劣化

ヨーロッパでは、建物の価値は古くなればなる程、上がると言われています。特にイギリスにおいては、100年以上も経った家が建築当時に比べ何倍も高く流通しているといいます。日本の住宅を考えると、長寿命住宅（100年以上の建物）は近年その数を減らし、30年～40年のサイクルで次の世代へと移行し、新しく建て替えられることが多くなってきました。いわゆる「消費は美徳」といった考えが一般的な考えとして広がっているような感じを受けます。

最近の家造りを観察してみても、デザインや機能性を重視した考え方が一般的で、素材や部材に対しての関心が低い傾向にあるように思えます。弊社では木造住宅で一番大切な構造（家の骨組み）を見ていただくために「構造見学会」を企画することが多く、私自身も極力参加するようにしており、構造としての木材の重要性を皆様に直接お伝えしています。たくさんのお客様と対話してみてあることに気が付きます。確かに、木造住宅では構造を成す木材がとても重要であるとの認識は、ごく自然に浸透しているように感じます。しかしながら、肝心な木材そのものに対してはその逆で、私が思っていた以上に、浸透性の薄さが伝わってきます。例えば車を購入する際に、その車の燃料種がガソリンなのか軽油なのかが分からない状態で走らせてしまっているというような感じです。もちろん実際にそんな人はいらっしゃらないのですが、木造住宅を建てるのに木材のことを理解するということは、つまりそれと同意なのです。ただ、知りたいという潜在意識は誰しもが持っています。その証拠に「木材のことを少し勉強してみませんか？」とお声掛けすると、皆様興味津々で耳を傾けてくださいます。

本物の生きた木材を使用すれば、建物の寿命は確実に永くなります。歴史が証明している通り、薬師寺の東塔や法隆寺の五重の塔は、1200年以上も前に建てられた木造の建造物なのです。他にも日本国内には200年以上経過している寺社仏閣、城、住宅が数多く存在しており、それらは「木材」、「石」、「土」、「漆喰」等の自然素材のみで建築されていることから、建物の寿命と素材との関連性は明らかです。

年を重ねる毎に侘び寂びが深まり、艶が出てきて、経年する過程で美化していくということ、それが生きた素材の証です。私たちはそれを「経年美化」と表現しています。一方、最近の建築物は使用されている材料が石油製品を主として生産された「新建材」、「集成材」、「プラスチック」、「ビニールクロス」等の機械的な家造り。そのため製品の劣化が激しく、年数と共に確実に価値を下げていく、まさに「経年劣化」です。

住宅は一生の中で最大の買い物です。財産として価値が下がらなければ、良質で本物の素材や部材を使用した方が断然お得です。確かに、デザインや機能性も重要ですが、スタートの段階で間違った素材を選んで悔いを残さない為にも、住んで益々美化される「経年美化」な家造りを目指してみてはいかがでしょうか。

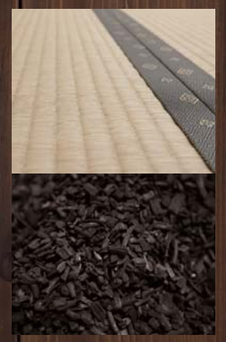
カイケンコーポレーション株式会社
代表取締役社長　健康住宅アドバイザー　浦上　直

音響熟成®木材 うづくりの床

素足にやさしく心地いい床材

「うづくり」とは、木の年輪を浮き上がらせる加工法。自然な凹凸が足裏を心地良く刺激して血行を良くし、冷え症の方もご安心頂け、こどもたちの扁平足予防にも効果的です。また、凹凸が室内の光を拡散して目に優しく、眼精疲労を和らげます。

竹炭入り清活畳®



マイナスイオン効果で清々しく

6畳2間でドラム缶1本分の竹炭が入った「清活畳（せいかつだたみ）」。竹炭は化学物質を吸着する能力が備長炭よりも優れるとされています。い草の爽やかな香り・肌ざわりが、すがすがしい空間をつくります。

最新情報はウェブサイトで発信中　ぜひアクセスを！

本当の健康住宅、健康自然建材を知りたい方、シックハウスでお悩みの方、住むほどに愛着がわく自然素材の家づくりをお考えの方、ぜひご覧ください！

アクセスはこちらから
www.e-kaiken.com
カイケンコーポレーション　検索

空気がうまい家 全国体感録

音響熟成木材・幻の漆喰・清活畳を使用した、家族にやさしい「空気がうまい家」。全国に広がるその魅力をご紹介します。

●音響熟成木材「バスユニット」仕様のバスルームは、木の爽やかな香りに癒され、毎日の入浴を森林浴にしてくれそうです（写真左）。
●音響熟成木材を使った家具・建具も見所です（写真中）。
●竹炭入りの清活畳が清々しい小上がりの和室。床の間には幻の漆喰「そとかべ」の「藍墨色」が使われ、より格調高く（写真右）。

●音響熟成木材でダイニングキッチン一式がトータルにデザインされた「ダイニングアート」（写真上／写真右上）。

「そとかべ」新・和モダンの白い家
延岡市 K様 モデルハウス 施工◎（株）建友倶楽部

宮崎県

幻の漆喰「そとかべ」の白い外観が鮮やかな印象を残す住まいです。リビング・和室とつながるウッドデッキなど、住空間の全てに工務店様の高いこだわりが反映されています。

●幻の漆喰「そとかべ」の「素色（もといろ）」が青空に映える外観（写真右）。「そとかべ」は光熱触媒作用により、汚れやすい外壁をクリーンに保ちます。 ●「そとかべ」仕様の玄関（写真左）も、漆喰のやわらかな格調が漂い、静かな風格を主張します。

●音響熟成木材と幻の漆喰で居心地のいい吹き抜けのリビング（写真右）。
●夜の雰囲気も格別の住まいは、住むほどに愛着が増していきます（写真上／左）。

●高台の素晴らしい眺望を満喫できる開放感たっぷりのウッドデッキ（写真左）。 ●音響熟成木材「黒」でまとめられた家具・建具に、レトロなアンティーク照明が良く似合います（写真上左／上右）。 ●質の高い素材と無駄の無いデザインが「経年美家」を実現します（写真右）。

「黒」の美意識が見事で素敵な家
T様のお住まい 施工◎（有）石原工房

群馬県

外壁にも音響熟成木材が使われ、クラシックな片流れ屋根の外観デザインとあいまって、時代に左右されない独特の風格が漂う素敵で個性的なお住まいです。

●見る側で異なる表情を見せる外観（写真左／右）。お施主様の住まいに対する美意識と、それを具現化する工務店様の技術の見事なコラボレーションです。

●音響熟成木材「黒」でデザインされた「ダイニングアート」。歳月とともに味わいが高まっていきそうです（写真上）。
●日々の安眠を約束してくれそうな畳ベッド（写真右）。

空気がうまい家 全国体感録

「空気がうまい家」をつくる全国の工務店様は、カイケンのウェブサイトでご紹介しています。ぜひチェックしてみてください。

薪ストーブのあるパステルモダンの家
Y様のお住まい 施工◎(有)鶴嶋工務店

福岡県

パステル調の淡いグリーンの屋根、木の外壁、そして薪ストーブの煙突が素敵に好印象的な平屋のスマートなお住まい。室内は音響熟成木材のやわらかい木目と幻の漆喰の優しい風合が醸し出す穏やかな雰囲気の中に、光がたっぷりと差し込み、とても居心地の良さそうなとびきりの空間になっています。

●見た目にも丁寧な家づくりが伝わってくる空間です(写真上)。
●薪ストーブのある暮らしは、冬の日の楽しみをいろいろ増やしてくれそうです(写真左)。

●照明が入ったニッチ、手づくりの建具や家具など、住まいのすみずみにまで職人さんのこだわりがあふれています。

●掘りごたつ風に仕立てられた小上がりの畳スペース。い草の香りがさわやかににおい立つのが感じられるような、素敵な空間です。畳の空間は、ごろんと寝転がれるのも心地いい魅力です(写真上)。
●音響熟成木材の手づくりキッチンは、奥様の使いやすさを考慮して、高さや奥行などすべてにこだわりぬいて作られています(写真上右)。

質実「健康」な元気な家
T様のお住まい 施工◎(株)コタニ住研

兵庫県

構造材にも音響熟成木材がふんだんに使われた健康仕様のお住まい。幻の漆喰の白壁と音響熟成木材の赤みのある木目が調和した空間です。

●音響熟成木材の手づくりテーブルセットが配されたリビング・ダイニング(写真上)。建具にも音響熟成木材が使われ、化学物質を吸着・分解する幻の漆喰の作用と合わせて、収納空間も半永久的にクリーンに保ちます。

●住まいの細部の遊び心のある仕様が、暮らしを豊かにしてくれます。

●存在感のある「梁」や手づくりキッチン、うづくりの床など、音響熟成が持つ魅力を存分にいかした住空間は、つい長居してしまいたくなる居心地の良さです。

和の趣きあふれる格子戸の家
Y様のお住まい 施工◎(有)オビナタ工務店

富山県

音響熟成木材「黒」が持つ風合いを「和」の情緒あるデザインで仕上げたお住まい。格子戸を開けて一歩足を踏み入れると、そこには懐かしくも新しい趣ある住空間が広がります。

空気がうまい家 人と暮らしをたずねて

2014 spring vol.40

取材メモ

以前はこの家のすぐ近くのマンションにお住まいになられていた多田様。本格的なお引越しはこれからなのですが、実は2週間程前から新築のこの家で寝泊まりされています。

この家で寝るようになり、以前から苦しんでいた花粉症の症状が楽になったり、また経済面では暖房費が下がったりなど嬉しい出来事が起こっているそうです。

長崎の街並みを一望できる丘の上のお住まいです。

驚いたことに30年近く苦しんでいた花粉症が、宿泊して2・3日で回復したのです！この時期だと呼吸が出来ないほど苦しかったのが信じられないです！

多田様のお住まい

長崎県長崎市 ●新築

●施工 こころ工房(株)

◎由美子様
◎お孫さん
◎春太郎くん
◎星蘭ちゃん
◎水蓮ちゃん

由美子様(中央)のお宅にお孫さんたちが集まり、賑やかな一日でした。

かれこれ30年近く前のこと。当時住まれていたご自宅の改装工事が行われた際、多田様は掃除などのお手伝いで現場を訪れる機会が多く、ホコリなどに多量に晒されることがありました。多田様はご自身が花粉症になってしまった原因の一つとしてそのことを挙げられ、それ以来花粉症に悩まされるようになったということでした。また、15年程前に住んでいたマンションでは、新建材が使用されていたためか、環境が体に合わず、ひどい時は夜も眠れないこともあったそうです。目やにもひどくなり、日中目が開けられないことなどもあったのだとか。また、喉は息が苦しくなるほど詰まったり、鼻水でマスクがジュクジュクになることも…。

そこで体に良いサプリや体質改善のサプリなどを随分の間とり続けてこられたのですが、この「音響熟成木材」と「幻の漆喰」、「竹炭入り清活畳」の家に寝泊まりするようになってからは、ダンボール1ケース分もあったそのサプリを処分されました。というのも、この家では花粉症の辛い症状が全く出なくなり、要らなくなってしまったから、ということなのですが、しかしかなりビックリです。ご自身が心から終の住み家と呼べる住まいが、この家で本当に幸せだと喜ばれていました。

さらに嬉しいことに、この家では暖房も以前の家のようには必要なく、とても暖かく暮らせると、身体面だけでなく経済面でもこの家の良さを実感なさっています。

多田様には可愛らしい三つ子のお孫ちゃんたちがいらっしゃいます。取材の日は遊びに来てくれていて、私もちょうどお会いすることができました。春太郎くん、星蘭ちゃん、水蓮ちゃんの3人で、ご挨拶やお手伝いもバッチリ！ 行儀も良く、とても活発なお子様たちでした。その3人がお生まれになったとき、多田様が住んでいたマンションはすごく冷え込んでいて、床暖房にエアコン、電気ストーブとフル稼働で部屋を暖めなければなりませんでした。そのことが嘘かのように真逆な環境のこのお家。太陽の光とガスストーブ一台で暖かく快適に過ごされています。

多田様が寝泊まりをされるようになってから、まだ2週間程ですが、たくさんの方がこの家に訪れては喜びの声をあげてくださいます。中でも多田様の妹さまはヒーリングガーデン(人間の福祉につながる目的を持った庭)を学んでいらっしゃるということで「音響熟成木材と幻の漆喰の家はヒーリングガーデンのような心地良さを感じるから、ここはヒーリングハウスだね！」と、この家の良さをそのように表現なさったということでした。まさに体が無条件に受け入れる癒しの空間なのですね！

●多田様にたくさんの良いお話を聞かせていただき私も本当に嬉しく思いました。お忙しい中うれしいお話と美味しい手料理をいただきまして心より感謝申し上げます。ありがとうございました！

キッチン、建具、収納にも音響熟成木材が使われています。

「空気がうまい家」は、子どもたちが元気でのびのびできる空間。

新春や煌々と星清き水

完成コンサートで詠まれた多田様の俳句。お孫さんの名前から一字ずつとられた一句です。

多田様からのお手紙

理想の家

若い頃から「ログハウスに住みたい」というのが長年の夢でした。ある日、銀行で『長崎の家』という本が目に留まり、こころ工房さんの家に心奪われました。輸入物のログハウスでは防腐剤など使われていることを考えると、やはり地産地消で国産の材料を自然に生かしたものを使うことが肝要だと思いました。それもバッハの曲を聴かせ、低温乾燥させて加工された飫肥杉を床、柱、梁などに使うのです。赤貝、海藻など自然の原料の幻の漆喰、竹炭をふんだんにいれてある清活畳と三拍子揃った音響熟成の家。これほどぜいたくな健康的な家が他にあるでしょうか？

響の家完成コンサートは、はからずも2014年のニューイヤーコンサートとなり、老いも若きも山口修さんのギター、純子さんの歌、後藤美樹さんのピアノ、炎龍さんの即興絵に酔いしれました。三つ子の8歳の孫たちもカウンターの上で楽しく歌い盛り上げてくれたのです。50人余りの人々がまるで森林浴をしているかのようにくつろぎ、数々の素晴らしい音楽に耳を澄ませていました。

嬉しい時も悲しい時も花と音楽が心の糧となることはいうまでもありません。

ここで同窓会しようよ、誕生会やろうよ、などと居心地のよさに感動し、来場者がそれぞれに次回の計画まで立て盛り上がっていました。

驚いたことに30年近く苦しんでいた花粉症が、宿泊して2〜3日で回復したのです。妹は一泊しただけで、その時花粉症が遠のき薬の服用を止めました。またマンションの自宅へもどると花粉症が再発です。従姉が完成コンサートに来てくれた時、何日か腸の通りが悪く調子が悪かったそうです。わずか数時間で気持ち良くなり快調になったとのことでした。母もまた同じように快調になり、引越しも終わってないのに泊りたいと度々電話してきます。

孫の一人がマンションで引越し準備をしていた時、ハウスダストからの喘息の発作が夕方出始めたのです。すぐに木の家に連れてきて、こんにゃく湿布、テルミー治療、6%の自然塩水、薬草茶を飲ませ寝せました。夜中の12時過ぎまでゼーゼー、ヒューヒューと荒い息遣いが天井まで響き苦しんでいました。朝少し頭痛がすると言っていましたが、いつものようにたっぷり朝食をとり、10時頃には妹たちと走り回る程回復してきたのです。響の家は自然治癒力を高める効果があることを実感しています。

眼下に長崎の景色、稲佐山、屋根伝いに岩屋山、金比羅山を望む丘の上で、木の香漂う終の住み家です。時折船の汽笛さえ聞こえてきます。終日心身共にくつろぎの時を過ごさせていただき至福の極みです。神様、先祖、家族、友人、それにこころ工房の方々に深く感謝しています。

人間も自然の生き物だから、自然の物で造られた家に住むことが大切なことだと考えています。このような素晴らしい家があることを知らない方に、住環境の重要性を私なりに伝えていくことが使命だと強く思っています。

できるだけ畑、庭で土と語らいながら、これからの人生を前向きに、健康に暮らしていきたいと望んでいます。

多田由美子

大工の私が惚れ込んだ家！

田中様のお住まい

●施工（有）オビナタ工務店

富山県魚津市●新築

◎志郎様◎一美様
◎凌太（りょうた）くん（6歳）
◎さくらちゃん（4歳）
◎栞（かんな）太くん（2歳）

元気で愉快なお子様たちと、にぎやかで楽しい暮らしです。

それは
たまたま大工仕事の応援で知り合いの棟梁の現場に入ったときのことです。大工仕事をしてきてこれほど心が惹かれた木材は出会ったことはないと思えるほどで、ひと目で気に入りました。すぐカタログなど見てます
ます気に入ってしまいました。

他の素材では家を建てたくない

田中様がこの家造りに出会う前、当初はやむを得ない事情があり、違う素材での家造りを検討なさっていました。あるときたまたま応援に入った現場で、大工という立場で素材に出会い、加工に携わり、「音響熟成木材」の良さに触れました。それからは素材にどんどん惚れ込んでいき、この素材以外での家造りは考えられなくなったそうです。奥様はカタログなどをみて「幻の漆喰」をとても気に入られたこともあり、「音響熟成木材」と「幻の漆喰」で家を建てることが決定いたしました。現在は転職をされて、今では自宅でも現場でも「音響熟成木材」に触れることができます。これまで現場で感じていたツーンとするニオイ。新築特有のニオイと思って当たり前に仕事をしていたのに、実は糊や接着剤など、化学製品である新建材のニオイだということに気付かれたのも大きな発見だったそうです。

何もかも快適に感じてしまうほど

田中様のマイホームが完成したのは1年前の3月。以前は築30～40年の一戸建ての貸家に住まれていらっしゃいましたが、暑くて寒くて暗くてジメジメとしていて、とても快適な暮らしとは呼べませんでした。この家に引っ越してこられてからは、6月の湿度の高い時期でも、ほとんどジメジメ感を感じることなく過ごすことができ、何もかもが快適に思えてしまうほど、気持ちの良い生活を楽しんでいらっしゃいます。

ご家族の楽しい思い出でいっぱいのお写真。これからまた新しいお住まいで、いろいろな出来事がご家族の日々を彩っていくのでしょうね。

音響熟成木材と幻の漆喰が使われた階段も、いい心地。お子さんたちはとくに「空気がうまい家」の居心地の良さに敏感なようです。この笑顔のまま、すくすくと成長していって頂きたいですね（写真上）。

住み始めて最初の冬も、ちょっと暑すぎるのでは？と思えるほど、家に帰ったときの空気が暖かく感じたのも印象的だったそうです。取材当日も外気温は4度で決して暖かい日ではありませんでしたが、家の中は暖房器具1つだけとは思えないほどの暖かさに包まれていました。一般的な建材とは違い、「音響熟成木材」の床は暖かく、極端に冷え込んだりもしないとのことでした。

ご主人も最近では他の現場で仕事が入った際、以前はそこまで感じなかった接着剤や新建材のニオイが強く感じるようになったそうです。

引っ越してすぐのこと。ご主人がキッチンの対面カウンターで飲んでいたジュースを、誤って思いっきりこぼしてしまい、キッチンの背面がかなり汚れてしまう出来事がありました。その時はご主人もさすがに「やってしまった！」とガッカリ…。でも気付いたらそのシミは綺麗になくなっていたのだとか。

また奥様は収納庫の床に粉末洗剤をうっかりこぼしてしまい、墨を落としたみたいに黒い跡が残ったそうなのですが、お酢で丁寧に拭いたら元通り！これもまた綺麗に消えてしまいました。

これは「音響熟成木材」が持つ独自の特徴のひとつ。細胞が壊れず生きているので、汚れたりしても跡が残りにくいのです。

田中様のお住まいでは、「手づくり」のぬくもりがあちこちで感じられました。ご家族の雰囲気が反映された、居心地のいい優しい空間です。

音響熟成木材の端材を使った設えや幻の漆喰のニッチなど、大工さんならではの細部への「こだわり」と「工夫」が、住まいのあちこちにいかされています。

造り付けの本棚も大工さんのお宅ならでは（写真上）。和室の壁の一部は、幻の漆喰「そとかべ」の藍墨色でした（写真下）。

いたるところにこだわりや工夫

この家に住み始めて快適に過ごしているからでしょうか、ご実家に帰られても何だか落ち着かないと感じることもしばしば。ご実家は新建材のフローリングにビニールクロスの壁なので「やはり違うんですよね！」とご主人。実は私も「音響熟成木材」と「幻の漆喰」の家に住み始めてから、実家へ帰っても以前の様に落ち着いて過ごせなくなりました。田中様もきっと同じように感じられたのでしょうね！

ご主人は大工さんということで、「音響熟成木材」の端材を使用して、可愛らしくフローリングをアレンジしてみたりと、いたるところにこだわりや工夫が散りばめられていました。

●田中様、お忙しい中の取材を受けてくださり、お子様たちの可愛い笑顔と寝顔と大工様ならではのお話を聞かせていただきまして心から感謝申し上げます。ありがとうございました！

ほんとに元気でのびのびとしたお子さまたちのおかげで、こちらも元気を頂きました！

お客様にも店舗リフォームうれしい

焼肉 皿膳 様
◎ご主人様
◎奥様

幻の漆喰の壁に
リフォームして
7年経過しましたが、
リフォームした年は
もちろんのことですが、
現在もリフォーム前に
比べると驚くほど掃除が
楽になりました！
店内の汚れ方も
ずいぶん違い、目立ち
にくくなりました！

岐阜県岐阜市 ●店舗改装
●施工 凰建設（株）

「皿膳」様 体験談

飛騨牛の焼肉店をオープンして今年で18年目を迎えられる皿膳様。地元で焼肉を食べるなら皿膳が一番！と改装工事を受けられた凰建設の森社長様。赤身などの定番はもちろん、タンやレバ刺しなども新鮮でおいしく、お肉の良し悪し、こだわりのもみタレ、つけタレの三拍子が揃っているお店とのこと。皿膳様が改装工事を依頼されたのは7年前になりますが、凰建設様の薦めもあり幻の漆喰と音響熟成木材を使用することにされたとか。その結果、7年経過しているにも係わらず未だに「改装されたばかりですか？」と聞かれることもあり「7年前のことですよ」とお話すれば「汚れてないですね」「掃除が行き届いてますね」とか「臭いが少ないね」などのお客様のお言葉に大変喜んでいらっしゃいました。

実際、ご主人も奥様も以前のクロス貼りの店内とは全く違うということを実感されており、においの状況やお掃除についてお話くださいました。

当たり前のことですがお肉を焼いて食べる焼肉店ですので、焼くときの油が壁などに飛散し油汚れがひどく、普通は閉店後、お店に独特のひどい臭いが残ります。皿膳様も以前のクロスのときは油の飛び散りがはっきりと壁に残っていて、大掃除の際にいくら拭いても取れない程のこびり付き。照明器具も油とホコリがくっついてしまい、洗剤でも取れない程のガンコさでした。それが、幻の漆喰に塗り替えてからというもの、普段気付いたときにホコリを払うだけでOK！こびり付くような油汚れもなく、ほとんど気にならなくなったと驚かれていました。

また、閉店後も翌朝まで閉め切った状態にも係わらず、リフォーム前とは比べ物にならない程爽やかに！これまで感じていた、翌日お店を開けた瞬間の不快な空気や、油特有のジメッとしていてネットリする臭いさえもほとんど気にならなくなったとのこと。清潔になった店内に皿膳様の喜びも膨らみます。

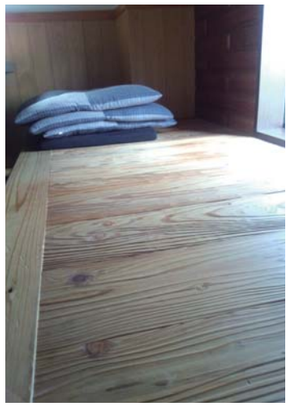
また、奥様が壁際に飾られていた赤いバラのプリザーブドフラワー。ご本人も気付かないうちに壁に接触していたらしく、いつの間にかバラの赤い色が幻の漆喰の壁にうつってしまいました。ですがそこは幻の漆喰！吸着、分解の効果が働いて、しばらくしたら消えてなくなったのだとか。さらに別の場所では壁際に置かれていたトースターがうっかり焦げてしまい、壁にはなんと黒いススが・・・！ですがこれもまた驚きの効果を発揮。その汚れはその日のうちに消えてしまったのだとか。私達も経験していない、幻の漆喰の様々な効果をお伺いすることができて改めて勉強になりました。

リフォームされて7年経過した今もこのようなお喜びの声をお聞きすることが出来て嬉しい限りです。開店準備のお忙しい中、快く取材を受けていただきまして心から感謝申し上げます。取材の日は時間の都合で食事が出来ずに残念でしたが、次回はぜひ皿膳様の美味しい焼肉を食べに伺いたいと思います。ありがとうございました。

においが少なく、清潔なお店は、お客様にとってもうれしいお店です。皿膳様は、焼肉がうまいだけでなく、「空気がうまい店」でもあります。

音響熟成木材

木の命が木材の命として引き継がれている「生きている木材」。それが、音響熟成木材です。単なる素材ではなく、木「財」と言えるほどの価値を生み出します。



音響熟成木材は、まさに「経年美化」する素材です。うづくり仕様の床材は、ご覧のように時と共に美しいツヤが出て、表面がよりなめらかになっていきます。

幻の漆喰

化学物質を吸着・分解する作用がある「幻の漆喰」。焼肉のにおいも分解され、汚れやすいスイッチまわりも、リフォームから7年経って、ご覧のとおりです。

これからも末永く、皆様がお元気で、繁盛店であることを願っております。

SAiN 読者アンケート

ご愛読いただきありがとうございます。これからも読者の皆様にますます喜んでいただける情報誌『SAiN』にしていくために、どうぞアンケートにご協力をお願いいたします。お名前・生年月日・性別・ご住所・TEL・職業・『SAiN』裏表紙に記載されてある「正規取扱店名」をご記入の上、アンケートにお答えいただき、下記宛先までご応募ください。申込専用ハガキ・WEBでもご応募できます。

Q1 『SAiN』を知ったきっかけは？
①セミナー　②見学会・展示会　③DM　④友人・知人からの紹介　⑤その他

Q2 「健康住宅」のイメージは？

Q3 いちばん印象に残った記事は？（番号をご記入ください）
① 表紙　② P1.「無添加」というだけでは「健康住宅」とは言えない？
③ P2. 経年美化と経年劣化
④ P3〜6. 空気がうまい家全国体感録（　　邸）　⑤ P7・8. 多田様体験談
⑥ P9・10. 田中様体験談　⑦ P11・12. 店舗リフォーム「皿膳」様
⑧ P13. 大切なことを「紡ぐ」幸せ　⑨ P13. プレゼントコーナー
⑩ P13. 編集ほのぼの後記　⑪ その他

Q4 役に立つと思われる記事はどれですか？（「Q3」の番号よりお選びください）

Q5 今後取り上げてほしいテーマ

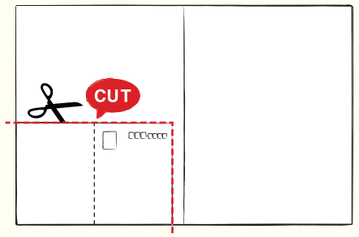
Q6 『SAiN』へのご意見・ご感想

Q7 ご希望プレゼント番号とプレゼント名を第1希望・第2希望までご記入ください。

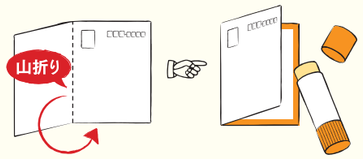
応募先
●ハガキ応募先 〒814-0171 福岡市早良区野芥2-27-5
カイケンコーポレーション（株）「SAiN」春号vol.40 プレゼント係
●WEB応募先アドレス https://s360.jp/form/31147-1005/
※当選者の皆様は次号（2014年夏号 vol.41／2014年6月10日発刊予定）にて発表させて頂きます。

アンケートハガキの使い方

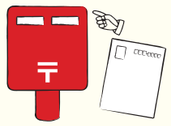
1. ハガキにご記入いただいた後、切り取り線に合わせて、ハガキを切り取ります。



2. 切り取ったハガキを山折りにし、中面にのりをつけ、張り合わせます。



3. 記入漏れがないか確認いただき、郵便ポストへ投函ください。



キリトリ

（フリガナ）　　生年月日　年　月　日
お名前　　性別（男性・女性）
ご住所　〒
お電話
Eメール　　メールマガジン配信 □希望 □希望しない
ご職業　会社員・公務員・自営業・学生・主婦・その他

『SAiN』を知ったきっかけは？（番号を○でお囲みください）
① セミナー　② 見学会・展示会　③ DM　④ 友人・知人からの紹介
⑤その他（　　）

「健康住宅」のイメージは？

いちばん印象に残った記事は？（番号を○でお囲みください）
① 表紙　② P1.「無添加」というだけでは「健康住宅」とは言えない？　③ P2. 経年美化と経年劣化　④ P3〜6. 空気がうまい家全国体感録（　　邸）　⑤ P7・8. 多田様体験談　⑥ P9・10. 田中様体験談　⑦ P11・12. 店舗リフォーム「皿膳」様　⑧ P13. 大切なことを「紡ぐ」幸せ　⑨ P13. プレゼントコーナー　⑩ P13. 編集ほのぼの後記　⑪ その他

役立つと思われる記事は？上の質問の回答番号よりお選びください＜　　＞

今後取り上げてほしいテーマ

『SAiN』へのご意見・ご感想

ご希望プレゼント番号とプレゼント名をご記入ください　第1希望　第2希望

※アンケートにご協力ありがとうございました。プレゼント当選者は次号『SAiN』に掲載いたします。

山折り

料金受取人払郵便
城南支店承認
2601
差出有効期間
平成27年
3月31日まで
＜切手不要＞

郵便はがき

814-0190

福岡市早良区野芥2-27-5
カイケンコーポレーション（株）

『SAiN』春号vol.40 プレゼント係

ご愛読頂きましてありがとうございます。
アンケートにご記入頂きましてご応募ください。

この『SAiN』の裏表紙に記載されている正規取扱店名を下記にご記入ください

※お預かりした個人情報は、カイケンコーポレーション（株）と正規取扱工務店からのイベントや見学会のご案内、本やプレゼント発送、アンケート集計以外には利用いたしません。尚、お客様の個人情報は厳重に管理し、第三者に譲渡することはございません。

キリトリ

SAiN こだわりプレゼント

※ご応募締切 2014年5月10日（土）

1 音響熟成木材手づくり家具【1名様】

※実際のものとは異なります（2点とも）

テーブルセットまたは座卓
どちらかご希望のものをお選び頂けます。当選が決定されてから製作いたしますので、寸法などはお好みでお選び頂けます。よって、写真とは多少異なる場合があります。

2 音響熟成木材手づくり積木【1名様】

男の子向け　女の子向けがあります
音響熟成木材を使った職人さん手づくりの積木です。木の香りや風合いがやさしく、小さなお子様でも安心して遊ぶことができます。塗料などは一切使用しておりません。音響熟成木材という素材そのものをお楽しみください。

※実際のものとは異なります

3 アレルギー対応ケーキ【3名様】

体にやさしいマクロビスイーツ
食物アレルギーを持つお子様がいらっしゃるハートフルスプーン代表の上野様。子どもたちの喜ぶ顔が見たくて、幸せな気持ちにしてあげたくて、そんな母の気持ちから始められたのが、アレルギー対応ケーキ作り。今では、アレルギーのためケーキを食べることのできないお子様たちに、たくさんの笑顔を届けていらっしゃいます。また、卵・乳製品・小麦粉はもちろん全く使用していませんので、マクロビスイーツとしても美味しくいただけます。
ぜひ、お試しください。
●ハートフルスプーン
●TEL 092-885-2456
●〒819-0002
福岡市西区姪の浜2-20-36 203号

4 演奏活動40周年記念CD『山口修／シャコンヌ』【10名様】

確固たるマエストロの手腕が紡ぎ出す
見事な「ギター美」の領域（音楽評論家 濱田滋郎）
「空気がうまい家」の完成見学会で開催される音楽会イベントでも多くの方々を魅了されているギタリスト山口修さんの演奏活動40周年記念CDです。
●収録曲
『バッハ/チェロ組曲第3番全曲』
『バッハ/シャコンヌ』
『トロバ/ソナチネ』
『アジャーラ/南米組曲』
『デュアート/カタロニア民謡による変奏曲』
●フォレストヒルレコーズ
TEL 092-715-3822

ご当選おめでとうございます！ 冬号（39号）プレゼント当選の皆様

①音響熟成木材手づくり家具
谷 洋介 様
②音響熟成木材手づくり積木
相原 純代 様
③アレルギー対応ケーキ
池田 智子 様
甲斐 友樹 様
福島 孝子 様
④音響熟成木材のスツール
木村 末有 様
和本 真純 様

☞今号のプレゼントは左ページのアンケートにお答え頂きハガキ・WEBでご応募ください
＊WEBサイトプレゼントご応募アドレス☞ https://s360.jp/form/31147-1005/

編集ほのぼの後記

今号に掲載した多田様の取材で長崎へ行ったときのことです。ちょうどランタンフェスティバルが開催されていて、せっかくだからということになり立ち寄らせていただきました。美しく華やかに飾られたランタンやオブジェの数々は幻想的で異国にいるようで感動しました。中でもメイン会場に、三国志で有名な関羽を祀った祭壇がありまして、そこに供えられた豚頭たちは壮観で目を奪われました！ 豚の頭がいくつも飾り付けられ供えられている姿には驚きを感じましたけど・・・。ただ、次は家族で行って子どもに見せてあげたいと思います♪ また、その日は多田様に手作り料理を振舞っていただいたのですが、それがまたものすごく美味しかったんです！ 煮物に自家製のお漬物に梅干、どれも日本の母の優しさを感じるような温かい気持ちになる味でした。本気で習いたいと思ったぐらいですぺ。左の写真は先日大分に行く途中のPAで撮ったものです。たくさん残っている雪にテンションが上がった一護と従姉妹の和奏ちゃんです。そうそう、一護も4月から2年生になりますが、ここ最近幼児帰りしているようで学校行きたくない病とママから離れられない病にかかっていまして大変です（笑）。これも成長過程なんでしょうね！

浦上螢草

SAiN 大切なことを「紡ぐ」幸せ

「健康住宅」ってすっかり耳慣れた言葉になってしまいましたね。木、塗り壁、自然素材、アレルギーなどで苦しむ方々が増え、少しでも安心できる空間に住みたいというニーズの表れかもしれませんが、本当はその言葉があること自体が不思議なことのような気がします。本来家は健康で当たり前。そのことを表に出す必要はありません。不健康な家が多いからこそ「この家は健康だよ」というアピールをしなければならないのです。不健康な家がなくならないのには様々な原因がありますが、やはり「シックハウス法」という法律の存在が一番大きいでしょう。化学物質を使った新建材が法律で守られている限り、この問題が終わることはありません。

でもほとんどの方々が潜在的にせよ、大切なことを本当は分かっています。ただ、何となくモヤモヤと曖昧になり、膨大な情報が交錯し、その気持ちに蓋がされているような、そんな感じです。蓋を取り除くにはとてもエネルギーを使います。私達の思いや哲学を言葉だけで伝えても、それだけでは中々外れてくれないことが多々あります。だから空間を介して気付いてもらうのです。生きている素材の特性、長所も短所もひっくるめて、ありのままを体感していただくことが、大切なことを「紡ぐ」ということになると信じています。その方にとって何が一番の幸せに繋がるのか、与えるなんて大それたことは出来ませんが、気持ちを共有して、そのお手伝いをすることは出来るはずです。だからそれを信じて、これからも大切なこと、ありのままの想いを紡いでいきます。

浦上 日章

「空気がうまい家」
KAIKEN CORPORATION
カイケンコーポレーション株式会社
◎お問い合わせはフリーダイヤルでお気軽に
0120-874-814
●本社／〒814-0171 福岡市早良区野芥2-27-5
●電話／092(874)6110 ●FAX／092(874)6113
◎最新情報はWEBサイトでどうぞ http://www.e-kaiken.com カイケンコーポレーション 検索
●「音響熟成木材」「幻の漆喰」「清活畳」はカイケンコーポレーション株式会社の登録商標です。商標登録「音響熟成木材」登録第4739348号取得「幻の漆喰」登録第4739347号取得「清活畳」登録第4827042号取得●「音響熟成木材」「幻の漆喰」「清活畳」は正規取引店のみでお取扱いしております。類似品にご注意ください。お取扱い工務店等はWEBサイトでお確かめ頂けます。

お問い合わせは●カイケンコーポレーション健康自然建材 正規取扱店

SAiN 2014 SPRING ISSUE vol.40　発行●カイケンコーポレーション株式会社　〒八一四〇一七一福岡市早良区野芥二の二七の五　電話〇九二(八七四)六一一〇
【季刊】年4回・3月・6月・9月・12月・10日発行
© KAIKEN Co. All Rights Reserved.　※無断転載・複製を禁じます